

インドネシア水道に係る情報収集 No. 210201-1J

検索サイト	Google	実施日	2021/02/01	実施者	TADOKORO
検索方法：「インドネシア 水質調査」で検索					
URL： https://bizlab.sg/magazine/blog/2018/09/26/indonesia-water/					
標題：【水質向上のためには】インドネシアの水道業界 BIZLAB マガジン					
2020年 インドネシアの水道業界 【概略】					
>水道料金決定に関するインドネシア内務省規則が改定～水道業界事情～ 2020年6月25日、インドネシア全国飲料水会社組合（PERPAMSI）は2020年内務省規則第21号が制定されたことを報じた。 これは2016年内務省規則第71号の改定版で、経営難に陥る全国の飲料水官営会社（BUMD）の経営改善を促進するもの。 今回の改定で、毎年水道料金の上限価格と下限価格の決定権限が州知事に移譲された。知事は飲料水BUMDの経営状況に応じて所轄地方自治体（州、郡、市など）から補助金を出すよう促すことになる。知事が3年以内に収支を改善できない場合、「①飲料水BUMDにリストラを促す②会社組織から公共サービス機関に格下げする③近隣の飲料水BUMDと合併」のどれかが選択されるとのこと。					
>インドネシアで水道業界大手のMETA、前年比201%の大幅増収 IDX上場のインフラ会社、PT Nusantara Infrastructure Tbk（META）は、2019年の売上高が、1,573,690百万ルピア（約115億円）で前年比201%と大幅増収であった。 METAの事業は3つ。①高速道路事業②浄水事業③再生エネルギー事業。それぞれの2019年の売上高は、①1,342,847百万ルピア（構成比：85.4%、前年比：266%）②89,634百万ルピア（構成比：5.7%、前年比：103%）③141,209百万ルピア（構成比：9.0%、前年比：255%）であった。浄水事業は子会社のPT Potum Mundi Infranusantaraが3つの浄水処理プラント（バンテンと北スマトラ）を運営している。					
>Moya、2019年は水販売量が増加～水道業界事情～ 2020年6月20日、浄水事業を行うPT Moya Indonesiaの親会社のMoya Holding Asia Ltd.は株主総会を開催し、2019年決算が承認された。2019年のインドネシアでの売上高は205.8百万SGD（約159億円）で、前年比108.7%と増収であった。					
>製紙工場の生産性を向上するインドネシア・栗田工業の撥水膜技術～水道業界事情～ 栗田工業のインドネシア現地法人PT Kurita Indonesiaは2020年4月27日、ホームページで栗田のPJテクノロジーが、製紙工場の生産性を向上させ、水とエネルギーの節約を促進することに成功していると報じた。					
>2020年3月の渇水、インドネシア・バタムで大きな話題に～水道業界事情～ インドネシア有数の工業都市バタムで浄水事業を行うPT Adhya Tirta Batam（ATB）が2020年に入ってホームページに掲載したニュースの中でダントツに読まれたものは、2020年3月13日の渇水に関する記事であった。5千人以上が閲覧している。 これは市政府からATBへの連絡で「当面の給水制限処置は回避された」というもの。					
備考 日付は2018年9月26日となっていますが、内容は最新のもののようです。各項目に、出典が明記されています。					